

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。確かな専門力と豊かな人間性をもち、社会の発展に貢献し続ける実践的技術創造人材を育成する、それが、日本工業大学が掲げる教育目標です。

本学には様々な学修履歴の学生が学んでいます。みなさんは、それぞれ大きなポテンシャル（伸びしろ）を持っています。多様な教育プログラムで、各々の「伸びしろ」をしっかりと成長させる。クォータ制の工学基礎教育で最低限の基礎力は担保する一方、一律の達成目標の到達度だけで評価するのではなく、一人ひとりの成長度合い、努力のプロセスを評価する、それが本

成長マインドで 社会課題に挑戦する

学流の教育の「質保証」の考え方です。

教育に「万能の処方箋」はありません。「在学中に成長を経験した学生は社会に出てからも伸びる」。その信念で目の前の学生に真摯に向き合



学長
成田 健一

い、成長に導くための答えをすべての教職員が自ら考え、行動する。それが、この4月からスタートする新しい中長期計画NIT VISION 2030が掲げる「学生を成長させる力で、選ばれる大学

へ」が意図する姿です。

ただ、新入生の皆さん自身が、用意されたプログラムに積極的にチャレンジする、そういう姿勢がなければ成長に繋げることはできません。「今日はできなかったけれど、努力すればできるようになる」「そんな「成長マインド」を持ち続けること、それが何よりも大切です。

皆さんが目指すエンジニア、それは「社会の問題を見つけて解決する人」です。コロナウイルスによるパンデミックは、これまで気づかなかった社会の色々な課題を浮き彫りにしました。今、工学には、新たな社会貢献が期待されています。

自分の得意なこと人を笑顔にする、社会課題への挑戦、そんな経験を通してみなさんには4年間で大きく成長してもらいたい、そう願っています。専門力が使いこなせる実感、社会で役に立てる実感、学びが成長につながる実感、そんな実感を皆さんが持つよう、教職員一同は全力でサポートしていきます。

成功の体験を積み重ね「自己効力感（できると自分を信じられる力）」を高めていく。他人と比べるのではなく、今の自分を過去の自分と比べてみる。大事なのは前進であり成長です。4年後に、自信に満ちた皆さんの笑顔を見ることを楽しみにしています。